

平成27年度 兵庫県立視覚特別支援学校 支援相談部

アイ・あいだより 7月号



もうすぐ夏休み！！

蒸し暑くすっきりしない天気が続いています。いよいよ夏休みが近づいてきました。子どもたちは待ち遠しいですが、お家の方は大変ですね。

そろそろ休み中の計画を立てておられる頃かと思います。節電といわれていますが、無理せず脱水症や熱中症に注意しながら、楽しい夏休みにしたいですね。

先月号で、お知らせした通り、7月24日（金）に継続相談に来られている子どもを対象にサマースクールを実施します。暑い夏にプールで楽しいひとときがすごせたらいいなと思います。皆さんのご参加をお待ちしています。

夏休み中の公開講座

福祉体験&点字講座

日時 平成27年8月4日（火）
対象 視覚障害や点字に興味のある方（高校生以上）
※点字の基礎を理解されている方が対象です。
内容 「視覚障害者を知ろう」
「点字を知ろう」
点字を書いて伝えよう
歩行体験など
締切 7月24日（金）

弱視教育研修会

日時 平成27年8月6日（木）
対象 小中学校等に在籍する弱視児童生徒にかかわる職員
弱視教育に関心のある関係者
内容 午前（講演）
「眼科医からみた視覚障害」
午後（体験活動）
「弱視の見え方と弱視体験」
視覚障害関連機器の展示
締切 7月24日（金） 必着

公開教育講演会

「社会参加につなげるために
～インクルーシブ教育システムの構築～」
平成27年7月28日（火）10:00～12:00
講師：坂井聡氏（香川大学教育学部教授）

「不器用な子どもたちの理解と支援
～感覚統合の視点からのアプローチ～」
平成27年8月28日（金）10:00～12:00
講師：太田篤志氏（姫路獨協大学医療保健学部客員教授）

パソコン研修会

日時 平成27年8月5日（水） 10:00～12:00
対象 視覚障害児・者および支援者で音声ガイドソフトに興味のある方
締切 7月17日（金）必着 定員10名

Pad研修会

日時 平成27年8月7日（金）
対象 「基本操作とアクセシビリティの活用」に興味のある方
締切 7月17日（金）必着 定員30名

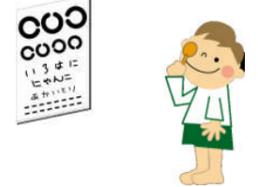
「視力」の種類について

人は、見る、聞く、触る、嗅ぐなどして、外からの情報を取り入れ、日常生活を送っています。その中で視覚からの情報は80%程度を占めています。病気やケガで視覚に問題が生じれば、外からの情報量は一気に減り、日常生活に支障をきたすことになります。

視覚障害児・者の見え方、不便さを健常者が想像するのはとても難しいことです。一般の人は、眼鏡を使用しない視力検査の結果で、眼がよい・悪いと判断しますが、実際には1.0の視標が見えれば眼がよく、0.1なら眼が悪いという単純なものでは決してありません。

本校では、「遠距離視力」だけではなく、「近距離視力」と「最大視認力（最小可読視標）」を調べています。これは、学習する上で机上動作など手が届く範囲内での動きが多く、また本などの文字を見る上で必要な視力と考えているからです。

- ①遠距離視力……5m離れた位置での視力測定
- ②近距離視力……30cm離れた位置での視力測定
- ③最大視認力……見やすい距離まで近づき、どれくらい小さいものが見えるかを測定するもの



これらの視力をもとに教材・教具の大きさや文字サイズを考えたり、視覚補助具の選定を行っています。眼鏡により遠距離視力を矯正している人は、近距離用の眼鏡を使用することで文字が見やすくなる場合があります。眼科医に相談すると近距離視力を測定して眼鏡の処方をしてもらえます。

とはいえ、眼科で行う視力検査は、理想的な環境で、眼の中心部分の機能を測定するものであり、日常視力とは少し異なります。

日常的に見ているものは、複雑な環境の中にあり、

- ①空間的に色々な場所にある
- ②動きがある
- ③背景をはじめとして周囲に色々なものがある
- ④自分自身も動いている

など視力検査では測れない多様な状況があります。視力検査では立体的な見え方や遠近感の評価されず、ピンポイントで見る指標の部分の評価でしかありません。

こういった、目の複雑な機能を知った上で、子ども達には適切な教材・教具・補助具を活用して、よりよい支援ができればと考えています。